

# 浜りハ通信

26年4月1日  
⑥号発行



少しずつ暖かくなり、春を感じるが増えました。桜の開花予想や開花宣言を聞くだけでうれしくなりますね。私（岩本）は、南相馬で過ごす初めての春です。利用者さまに桜の名所を教えていただいたのでお花見をするのがとても楽しみです。

浜りハ通信も6号発行となり、さまざまな感想やご意見をいただいています。その中で、リハビリを受けている利用者さまの感想も載せてほしいとのご要望がありました。リハビリの内容や、リハビリを開始してどう変化があったかななどを少しずつお伝えしていきたいと思えます☆今月は、このような声をいただきました。（いただいた文書をそのまま掲載しております）

## 「納得づくのリハビリ」

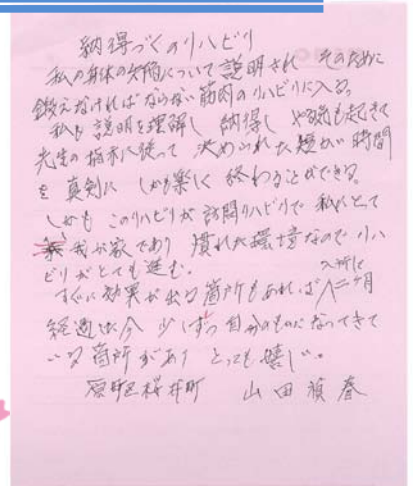
私の身体の欠陥について説明され、そのために鍛えなければならない筋肉のリハビリに入る。

私も説明を理解し、納得し、やる気も起きて、先生の指示に従って決められた短い時間を真剣に、しかも楽しく終わることができる。

しかも、このリハビリが訪問リハビリで私にとって我が家であり、慣れた環境なのでリハビリがとても進む。

すぐに効果が出る箇所もあれば、開始して2カ月経過した今、少しずつ自分のものになってきている箇所がありとても嬉しい。

原町区桜井町 山田禎春



\* 個人情報につきましては、同意を得た上で掲載しています \*

## 「ゆずる」に行ってきました



3月8・9日と、姉妹事業所「宮古・山田訪問リハビリステーション ゆずる」との合同研修会に岩手県宮古市まで行ってきました。互いの事業所の報告もあり、宮古市と南相馬市の地域性の違いなども知ることができました。また、財団の方々やゆずる職員と顔を合わせて話ができて、浜りハの職員にとってとてもいい刺激となりました。この研修会で得たことを、現場の中で活かしていきたいと思えます。お土産話、たくさんあるので是非スタッフから聞いてください。

